

働くよるこび

CHOFUSHI SILVER JINZAI CENTER

第147号

《会員数》

(平成29年6月1日現在)

男 …… 1,029名
女 …… 566名
計 …… 1,595名

平成29年7月発行

発行者：川村 信介

調布市小島町3-87-4

TEL.042-487-9375

発行／  公益社団法人 調布市シルバー人材センター

調布市シルバー人材センター設立40周年記念式典



総会風景



のびのび広場 さつき

第68回定時総会（報告）



去る6月23日、設立40周年記念式典のあと、定時総会が開催され、司会者から、現在の正特会員数は1,572名、委任状を含めた出席者は1,290名で総会は成立と報告があつて会議が進められました。今回の総会は、平成28年度の事業報告のあと、決算が議案として審議されました。また、10名の理事の選任が議案として提案承認をいただいで一括審議して、両議案ともに原案どおり承認可決されました。引き続き、平成29年度の事業計画及び収支予算についても報告されました。

臨時理事会（報告）

定時総会終了後、別室にて臨時理事会が開催され、当センターの三役として、新会長に川村信介氏、新副会長に永谷誠氏、常務理事に今村孝則氏が選任されました。また、新顧問に唐木善一前会長の就任が決まり、専門部会及び委員会の構成が次頁のように決まりました。

新役員

役職	氏名
会長	川村 信介
副会長	永谷 誠
常務理事	今村 孝則
理事	粕谷 慶子
	佐々木 修
	笹谷 雄次
	田中 伸一
	永石 正宏
	中野 侑彦
	横山 宏一 <small>（監事継続）</small>
監事	池田 恭司
	大澤 伸男

新会長の就任挨拶



会長 川村 信介

今回、総会終了後の臨時理事会において恐れながら会長に選任されました川村信介です。

皆様には何とぞ宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

最近の調布市シルバー人材センターの実績はお陰さまで順調に推移しております。

またシルバーの環境は、たとえば80歳以上の会員数が200名以上と超高齢化し、併せて仕事の種類や就業会員の価値観も多様化が進んでいます。

このような大きな傾向を複雑に抱えながらも、全体としては元気に歩んでおり、今後とも歩を止める訳にはゆきません。

近々調布市はオリンピックとラグビーのビッグイベントを迎え、

活性化しており多くの会員の期待感も高まっております。

内外の変化を柔軟に受け止め誠意を尽くし初心を忘れず「健康で楽しく共に働こう」をモットーに、役員一同、心を一にして今後の課題に取り組んでゆく所存であります。

皆様よろしくお願ひします。



副会長 永谷 誠



常務理事 今村 孝則



新任役員紹介

(敬省略)



粕谷慶子



笹谷雄次



永石正宏



横山宏一



佐々木修



田中伸一



中野侑彦

よろしくお願ひします。

〈退任理事〉

- ・唐木善一 (前会長)
 - ・後藤 潔 (前副会長)
 - ・新海孝治郎 (前理事)
 - ・中井百合子 (前理事)
- 長い間ご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

平成29・30年度 専門部会・委員会構成

◎部会長 (委員長) ○副部会長 (副委員長)
※(東)(西)(中)(南)(北)地区担当理事

		委 員				
部 会	総 務	(東) ○ 中野 侑彦	(西) ◎ 永石 正宏	(中) 横山 宏一	(南) 粕谷 慶子	(北) 田中 伸一
部 会	事 業	◎ 永谷 誠	○ 笹谷 雄次	佐々木 修		
委 員 会	広 報	◎ 中野 侑彦	○ 粕谷 慶子	横山 宏一	田中 伸一	(会員) 村山 秋信
	安全管理	◎ 佐々木 修	○ 笹谷 雄次	永谷 誠	(会員) 長谷川 忠治	(会員) 羽入田 紀一
	組織等 検討				(会員)	(会員)
部 会	理事・監事 選	◎ 秋田 孝	○ 渡辺 由一	安達晋一郎	佐渡 俊彦	友澤 常三

※組織等検討委員会は後日選任

会長退任の挨拶

この度会長の任務を終え退任することとなりました。在任中皆様から頂いた暖かい励しとお力添えに心から感謝と御礼を申し上げます。

ところで、シルバーに仲間入りをさせて頂き今年で丁度15年となりますが、この間風邪一つひかず元気でやってこられたのも偏にシルバーのお陰と感謝しております。

振り返りますと、地区委員や職班リーダーを経験させていただき、地域や職班を通じて多くの仲間と交流出来たこと、このことこそ正にシルバーの持つ神髄ではないかと改めて痛感しております。

この2年間は会長として、シルバーの運営に専念して参りました。特にその中で、シルバーにとって一番大事な事故防止即ち安全就業対策や働きやすい職場づくりとして就業基準の見直し、更には就業開拓、会員増強等々に力を入れて参りました。

「劫初より造り営む殿堂にわれも黄金の釘一つ打つ」長い行政経験を活かし地元調布市に何かお役に立つ事があればとの思いを常に心に秘めながら取り組んだ2年間でございました。

超高齢化社会を迎えた今日、シルバーの果たす役割はますます重要となります。調布シルバーの更なるご発展と、皆様のご健勝を衷心よりご祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。

唐木 善一

40周年記念の表彰を受けて (有志の皆さん)

去る6月23日、当センター名誉会長 長友貴樹氏(調布市長)、調布市議会議長田中久和氏、ほか来賓の方をお招きして「設立40周年記念式典」が開催されました。

当日は記念事業として、

1 発注者感謝状贈呈 20社

2 役員表彰、3期5年以上の職務 4名

3 会員表彰、(1)地区委員・リーダー・

サブリーダー 3期以上 34名、(2)継

続10年以上就業 114名、(3)80歳

以上継続5年以上就業 58名

以上、会員210名の方々が表彰されました。

1 役員表彰



深大寺南町 後藤 潔

平成29年度総会にて、理事を引退することになりました。

4期8年会員の皆さまのご協力に感謝申し上げます。今後は一会員として、微力ではありますが活動してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 会員表彰

(1) 地区委員・リーダー・

サブリーダー

(3期・5年以上の職務)



深大寺南町 吉川 容子

シルバー人材センターの会員になって、まだ日が浅かった頃、前任者だった方(家が隣り同士)に、次期の地区委員になって欲しいと強く依頼されて、何も分らないままお引き受けしました。今日に至っております。

3期6年間、何とか大過なく努めを果たしたことで、今回、シルバー人材センター設立40周年にあたり表彰を受けますことは、いろいろとご協力して下さった地区の会員の方々のお陰と感謝しております。

しかしながら、一方で、そろそろ新しい方に、お役を引き継いでいただきたいと思うこの頃です。

地区委員は、シルバー人材センターの運営を陰で支えていく、大切な役目

の一つだと思えますので、2年後の更新時には、「やってみたい!」と希望される方が、出て下さることを願っています。

(2) 継続10年以上就業



緑ヶ丘 石塚 昌彦

第二の人生として選んだ仕事が高都

高速道路の料金所でした。毎日が緊張

の連続で、また楽しい仕事でしたが、

残念ながら70歳で定年になりました。

まだ体力・健康には自信があり、仕事は続けたい、しかし、自分に向く仕

事が有るのか心配しているおり、シル

バー人材センターのことを知りました。

どんな仕事をしたのか、心が定ま

らないまま、平成19年7月入会説明会

を受けました。

説明会のあとの事務局の方との出会

いで、第三の人生に向けた、素晴らしい

チャンスをおいただきました。

それはスポーツジムの自転車整理の

仕事で、やり甲斐があり、ジム会員の

皆さま(人)とのふれ合いや対応は楽

しく、過去の自分の貴重な経験を活か

せて、毎日が楽しかったです。

足掛け10年就業いたしました。世間の流れで、当スポーツジムも、有料無人機械化となり、業務は終わりとなりました。

シルバーの会員となつて十数年、何人かのシルバー仲間と二人毎のシフトを組んで、一日置きに就業をし、様々な生きがいを得てくれた、第三のシルバー人生・・・出来れば体力が続く限り、今は、健康に気を付けながら布田の有料駐輪場で頑張っております。

このたび、40周年記念の表彰を受けるとのことですが、初めての入会説明会に参加したときの出会いに、心から感謝いたしております。

(2) 継続10年以上就業



西つつじヶ丘 大谷 邦夫

数十年やっていた内装業も、段々と仕事量が減り自営の限界を感じていたとき、シルバーに入会しました。

早々に栄太郎総本店の紹介を受けたので即決でした。

就業先は洗い場手伝いでしたが、社

員の方から仕事を親切に教えていただきなど、楽しく働いておりましたが、工場の移転に伴い、仕事も終わりました。

その後は、清掃班に属して何ヶ所かを就業すると共に、東部の地区委員も行ってまいります。

表彰を受けて一言とのことですが、今、感謝していることは、入会して13年にわたり仕事ができていることです。

(2) 継続10年以上就業



染地 松井 淳子

先輩の先生方から、シルバー独自事業の学習教室で、子ども達に学習指導を行って、学力向上に力を貸してほしい。

使用する資料は、教科書ワークの他は、その子に応じて選択してよい。また講師はボランティアとして考えてほしい。などとお誘いに賛同して入会しました。

教科書ワークは別として、一人ひとりの子どもに対応して、指導用の資料(問題集など)が、自由に選び指導で

きることがうれしかったです。

また、学校でのテストや通知表の向上などの報告を受けて、子ども達や保護者の方と喜び合えることも、この仕事の大きな楽しみの一つです。

入会した当時は、指導者も多く、4年生から6年生まで募集できました。

最近、学習教室の趣旨には賛同を得ても、夜の通勤など就業条件で、指導者に応じてくれる方が少なく、4年生の指導ができなくなったり、指導者の負担(待ち時間||指導)が多くなっていることが、気になっております。

入会して十数年、まさかの表彰に感謝しておりますが、大切なシルバーの独自事業ですから、学習教室に関係する皆さまと話し合ってみたいと思っております。

(3) 80歳以上・継続5年以上就業



国領 荻原 とくよ

表彰されることを職場の方から知らされて、びつくりしました。

入会は、友達より聞いておりましたので、退職後にすぐお願いしましたが、

それまで勤めていた栄養士の仕事は無く、清掃の仕事はどうですか?との電話をいただいたのが最初ですが、まさか、こんなに長く働かせていただき感謝です。

最初の頃は、決められた仕事を時間内にキレイに終わらせることができるか・・・考え出すと夜も眠れませんでした。

外回り清掃の時の大雨や気温の上昇、台風など大変なこともあります。リーダーの人達や仲間との旅行や忘年会など、楽しいこともあります。

清掃は、発注者の要求の多い(時には、働く人達の意見は無視した)仕事です。表彰を機会に、私は、今改めて、働く意志を強く持って、発注者のご意見も聞き、健康の許す限り、この仕事を楽しく続けていこうと決意しております。



5月23日、駅前清掃ボランティアに参加しました。

恒例の多摩川クリーン作戦は雨のため中止となりましたが、今回の駅前清掃の当日は、天候に恵まれました。

開始時間前には、南部地区の会員がシルバー人材センターの旗の下三々五々集合しました。

幹事さんの挨拶のち、担当理事より、ロータリー内はバス・タクシーの発着が頻繁なので気を付けて下さい。等々諸注意が徹底され、いよいよ清掃開始です。

今年の駅前広場は、約半分が改修工事のため、少々狭い感じでしたが、その分密度の濃い清掃ができたと思っております。特に植込みの中にはいろいろな物が落ちています。

そんな時、通行人の方から「ご苦労さまー」と声をかけられたりすると、社会奉仕活動は地域の方々とのコミュニケーションにもなっているんだな、と少し嬉しくなりました。

(南部地区 佐々木 修)

仕事いろいろ

清掃のお仕事



清掃班リーダーの皆さん

清掃班は、現在男性63名、女性13名合計197名の方々が就業についております。

主な就業先は、マンションやアパートの共用部清掃やゴミの分別。事業所やオフィスの場合は、会社内の掃除機掛けやトイレ清掃・ゴミ回収など。幼稚園や保育園は、園内の拭き掃き掃除・トイレ・園庭の掃き掃除。更には、スーパーでは、店内のポリッシャー掛け・モップ掃き・トイレ清掃などです。

就業は男女不問が多いのですが、ポリッシャーなど力仕事に伴うときは、

男性希望があります。

頻度は、「週1〜2日」「午前中の2時間」程度、就業先に寄っては、もっと頻度の多い仕事もありますし、数人のグループでシフトを組んで、交互に就業する場所もあります。

また、一ヶ月の就業日数や時間数の少ない場所も多いので、複数箇所を掛け持ちで担当される方も多くいます。

清掃班の仕事は、多種多様ですから、就業会員を東西中南北の5地区に分け、それぞれリーダーを決めて、就業会員が抱えるさまざまな問題を、キメ細かく相談が出来るようにして、対応するようにしております。

就業をご希望される方は、遠慮なく事務局にご相談ください。

(広報委員記)

新入会員数(H29年4月~5月)

地区	男	女	計
東部地区	4	6	10
西部地区	11	6	17
中部地区	8	8	16
南部地区	9	6	15
北部地区	10	4	14
計	42	30	72

部会だより

〈職群班リーダー会議報告〉

4月19日たづくり会館映像シアターにて表記の平成29年度会議が開催された。

今回はリーダー57名中半数が新しく代わり、冒頭、会長から委嘱状が手渡された。

新年度の活動計画及び昨年度の活動費の執行状況等報告の後、安全管理の現状報告と解説が行われた。とくに昨年度は傷害、賠償事故が近年最悪を記録した。

安全管理委員長からリーダーが兼ねる安全支援員研修会として参加者に対し、とくに再発防止に対する啓蒙、喚起があった。

具体的には、事故の内容は人身事故、70歳以上の高齢者による事故が全体の70%で、冬期間に増加していること。会員各人の緊張感が必要なこと、自分を知る一層の自覚を求めたこと、まずは就業先の安全を優先すること。等指導があった。

最後の自由質疑では賠償事故の実例等について熱心な討議が行われ充実した会議となった。

(事業部会)

健康

食中毒を予防しよう

気温上昇に伴いこの時期から家庭内における食中毒の発症件数が増え始めます。食中毒は①0-157やサルモネラ等の細菌性食中毒。②食品に洗剤などが混入して起きる化学性食中毒。③毒キノコや自家調理のフグなどによる自然毒性中毒に分類されます。

特に細菌やウイルスによる食中毒は全体の九割を占めます。代表的な病原性大腸菌O-157、カンピロバクター、サルモネラ菌などは牛や豚、鶏等家畜の腸内に棲む細菌です。食肉が加工調理され店頭に並び私達の口に入るまでの間に菌が肉に入り込み増殖するのです。

又近年冷蔵冷凍技術も進化しましたが家庭内では過信する余り、長期保存したり再凍結したりと適切でない事もあります。食品を正しく扱い安全に調理するよう心がけましょう。

のびのび広場

私は昨年の7月より、シルバー人材センターの草刈り班として、働かせていただいております。

それまでは仕事をリタイヤした後、趣味の「さつき」に興じる毎日でしたが、持病の糖尿病が改善されずに悩んでおりました。

近所の友人である草刈り班の先輩歌川武夫さんに相談したところ、草刈りを始めて糖尿病が良くなった人が何人もいると聞き、是非とも入会させていただくことにしました。

初めはキツイ仕事に感じましたが、草刈り班のリーダーである軽部陽一さんをはじめ諸先輩方にご指導をいただき、大分仕事にも慣れ楽しく働かせていただいております。

今では、糖尿病も改善されて体調もよく、ますますの趣味の「さつき」に、夫婦共に熱が入るようになりました。

この度は、シルバー人材センターの皆さまのご協力のおかげを

もちまして、センター内に私の「さつき」を展示していただけることになりました。

ご覧いただいた皆さまに喜んでいただけて、とても光栄に思います。今後、な



す。今後、なお一層皆さまに喜んでいただけるよう、草刈りともども頑張つて参りたいと思っております。

(小林弘行)

事業実績内訳表

	H29 2月	H29 3月	H29 4月	H29 5月
会員数	1,597	1,557	1,588	1,595
受託件数	692	685	757	930
就業実人数	965	979	966	981
契約金額	46,851,236	51,649,080	52,714,519	56,352,607

〈全地区委員会報告〉

働くよこびかみしめての曲がホール内に流れ、4月26日に開催。会長より全委員79人に委嘱状が交付、内7人が新しく代わりました。

一、5地区の紹介等を各代表の方にお願いし、お互いの理解を深め、有意義でした。

二、地区委員の役割及び普及啓発活動について、委員と事務局、担当理事間の共通認識を高められました。

日頃、近隣のシルバー世代への声掛けを意識的に行なっていたください。また、班は概ね会員20名の構成ですが、変動が大きく支障ある場合は、地区割りなど変更し対処願いたい。

三、個人情報取り扱いに注意。ピンクと白のカードを持ち出したり、携帯しての会員訪問は控えて下さい。

四、6月の総会、記念式典の協力願います。

五、就業を辞めてもシルバーの活動に何らかの形で参加し、会員に留まられるような仕組みを、今後は考えてみたい旨の挨拶が事務局長よりありました。

(総務部会)

食中毒予防のポイント

① 食材について(買い物)

消費期限を確認する。肉や魚の汁がこぼれないようビニール袋等で包む。食材を長時間常温で持ち歩かない。

② 家庭での保存

帰宅したら速やかに冷凍冷蔵する。冷蔵庫に詰め過ぎない。

③ 下準備と手洗い

調理前に石鹸と流水で手を洗う。野菜などの食材も流水で洗う。調理道具は洗剤で洗浄後熱湯をかけて殺菌する。(台所用殺菌剤の併用も効果的) できれば肉、魚用と野菜用のまな板、包丁などを区別すると良い。

④ 調理

肉や魚は十分に加熱。中心部を75℃で一分以上の加熱が目安。生肉に触れた手やまな板を洗わずに野菜サラダなどを調理しない。

⑤ 食事

食事前に手を洗う。調理済の食品は長時間放置しない。

⑥ 残った食品

清潔な容器に移し冷蔵。怪しいものは処分しましょう。

看護師 吉村範子

これからの

事業予定

- 平成29年
- 7月5日(水) 会員の就業相談
 - 13日(木) 入会説明会
 - 14日(金) **配分金支払い**
 - 20日(木) 新入会員研修
 - 21日(金) 第3回理事会
 - 8月10日(木) 入会説明会
 - 15日(火) **配分金支払い**
 - 17日(木) 新入会員研修
 - 18日(金) 第4回理事会
 - 9月14日(木) 入会説明会
 - 15日(金) **配分金支払い**
 - 21日(木) 新入会員研修
 - 22日(金) 第5回理事会

※技能職後継者育成研修案内

次の職種で就業を希望される方を対象に、研修会を計画いたしますので事務局まで連絡願います。

- ① 除草 ② 草刈り (機械刈り)
- ③ 植木剪定 ④ 大工・左官
- ⑤ 襖・障子 ⑥ 壁装

事務局だより

〈職員の人事異動〉

事務局の臨時職員として勤められた水岡康子さん、松田紀子さんが3月31日付で退職されました。ますますのご活躍をお祈りいたします。

なお、4月1日付で囑託職員として鈴木恵子さん、臨時職員として堀内早苗さん、安田美月さんが採用されました。よろしくお願いいたします。

事務局職員の主な担当業務などを4月から一部変更いたしましたのでご報告いたします。

- 今村事務局長 (常務理事)
事務局及び職員の統括
- 高木就業次長
小中学校・児童館・たづくり・公民館・その他公共施設・植木・安全管理委員会等
- 塚田総務次長
庶務・人事・統計・会員管理・理事会・派遣事業等
- 岡田主任
駐輪場・家事援助・体育施設・事業部会 (職群班担当) 等

● 中倉主任

民間企業・除草・草刈・塗装・大工・畳・総務部会(地区担当)等

● 須藤主任

経理・和洋裁・リサイクル・刃物研ぎ・レンタルサイクル等

● 中島主事

民間企業・学習教室・十一市競輪事業組合・社会福祉協議会・広報委員会等

● 五十嵐主事

襖障子・壁装・パソコン教室・筆耕・チラシ配布等

〈平成29年度会費未納者へ〉

今年度の会費千円は、5月19日に口座引落しさせていただきましたが、口座引落しの手続きをされていらない方で、会費未納者の方は、至急事務局にお納めください。詳細については、事務局までご連絡をお願いします。

〈会員手帳の申し込みについて〉

会員手帳(平成30年度版)をご希望の方は、8月31日(木)までに事務局へお申し込みください。

● 編集後記 ●

青年から壮年、働きつばなしのあの時から40年・・・このシルバー人生想像だにしておりますでした。

たまたま記念誌の編集に携わりシルバー人材センターの歴史を知るにつけ、高齢者等の雇用安定という法律をもとに、国や地方公共団体等の、たて糸やよこ糸にわたる手厚い施策で、今日までの就業活動が維持できたような気がします。

ところが昨今は、高齢者をターゲットとした多種多様なマーケットの出現、役所や企業の定年延長・退職者向けの関連会社設立、NPOやネットによる新たな就業斡旋形態など、高齢者の雇用は、まさに競争競争の世界に入っているように見えます。

私たちシルバー人材センターの会員は、いまこそ設立の原点に立ち返って、発注者や就業場所を利用する一人ひとりに対し「親切」「ていねい」「公平」をモットーに従事し、就業を通じて元気を皆さんに見ていただきましょう・・・100歳現役社会を目指して。

(中野尙彦)